

鍼灸科

臨床医学特講 2

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	45	単位	3
担当教員	岡安維蓉／矢野恭一郎	実務経験	有	職種	鍼灸師						

授業概要

日常よく遭遇する疾患の施術、診断などの臨床上不可欠な知識を学びます。

到達目標

次の2点の能力を獲得することを目標とする。①運動器疾患の病態や症状、診断所見を説明できる。②筋骨格系と神経系の基本的構造と機能を理解したうえで、腰痛や肩こりはじめ、運動器の症状発生の原因を、身体的構造や機能の変化から類推できる。

授業方法

運動器の傷害を理解するうえで必要な筋骨格系と神経系の基本的構造を学んでいく。①授業前に配布される資料を使って予習。②各回の授業内容に沿ったテストの実施。③解答・解説。④資料を使って復習。予習・テスト・解説・復習のルーティンで授業展開し知識を深める。解説の中で関連疾患について概説する。

成績評価方法

期末試験

履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

「解剖学」「臨床医学各論」指定教科書／必要に応じて資料を配布

回数	授業計画
第1回	細胞学
第2回	循環
第3回	呼吸

第4回	消化と吸收
第5回	代謝
第6回	体温
第7回	排泄
第8回	内分泌
第9回	生殖
第10回	中枢神経系
第11回	末梢神経系
第12回	筋
第13回	運動
第14回	感覺
第15回	免疫

第16回	症状に対する原因解釈1
第17回	症状に対する原因解釈2
第18回	症状に対する原因解釈3
第19回	症状に対する原因解釈4
第20回	症状に対する原因解釈5
第21回	症状に対する原因解釈6
第22回	症状に対する原因解釈7
第23回	症状に対する原因解釈8